

★本記事の読み上げ動画を作成しました！

忙しく記事を読む時間がない方でも、耳を傾けていただくだけで内容を把握することができるよう、本記事を読み上げた動画を作成しました。移動時間やスキマ時間などにぜひご活用ください！
動画はこちら➡<https://youtu.be/S7D960LpDFA>



過去の動画はこちら



連載

★学校運動部活動の地域展開に取り組むクラブ★

NPO法人Sports Club RAINBOW

京都府宮津市

学校運動部活動をめぐっては、少子化による生徒の減少、それに伴う教員数の減少、専門的指導力を持つ教員の不足等により、生徒のニーズに応じた部活動自体が成り立たなくなる現状があります。

文部科学省では、令和5(2023)年度から令和7(2025)年度までを「改革推進期間」と位置づけ、休日の部活動について、合同部活動や部活動指導員の配置により地域と連携することや、学校外の多様な地域団体が主体となる地域クラブ活動へ移行することについて、地域の実情等に応じて可能な限り早期の実現をめざすよう各自治体に求めており、総合型クラブにおいても学校運動部活動との連携が期待されています。

そこで今回は、学校運動部活動の地域展開に取り組むクラブを紹介します。

1

クラブ概要

地域に根ざして15年。スポーツの枠を超え、 多世代の笑顔と「生きる力」を育む地域クラブのカタチ

平成24(2012)年2月の設立から歩みを進め、令和8(2026)年4月で活動15年目という大きな節目を迎えます。地域に根ざした総合型地域スポーツクラブとして、現在は以下の規模で活動しています。

- 法人格:NPO法人 ※平成30(2018)年取得
- 活動頻度:年間650回以上
- プログラム数:常設22種目+月1~2回のイベント

【3本柱+αのプログラム】

構成目的やレベルに合わせた4つの部門を展開し、子どもから大人までが楽しめるよう工夫しています。

コーチング部門:フラッグフットボール、タグラグビー、キンボール、ウエルネスダーツ、ライフセービングがあり、技術の向上をめざします。

トレーニング部門:KISUKE(体力向上プログラム)、リフレッシュエアロ、プロレスごっこ、防災キッズがあり、身体の土台をつくります。

コンディショニング部門:からだスマイル、ゆるめて整うからだケア、リラクゼーションエクササイズ、身体と心すっきりヨガがあり、心身の調整・ケアを行います。

エンジョイ部門:ノルディックウォーキング、フットサル、バドミントン、ソフトバレー、ショートテニス、スリータッチボール、ボッチャ、新聞部、ボランティア活動があり、交流を楽しみます。



KISUKE~KUMOICHIコンテスト



ウエルネスダーツ



キッズエアロ



キンボール

[スポーツ以外のユニークな活動] (スポーツの枠を超えた学びの場も提供しています)

防災キッズ:防災を学び、自治会やイベントで成果を発表します。

新聞部:子どもたちが手づくり新聞でクラブの魅力を発信します。



防災キッズ~毛布担架



新聞部

【「海の京都」ならではのイベント】

季節感や地域の特性を生かした体験イベントも充実しています。

ジュニアライフセービング講習会(年2回):秋にはウェットスーツを着用して波のある海へ。海の「楽しさ」と「怖さ」の両面を知り、安全な遊び方を学びます。

季節のイベント:四季を感じながらのノルディックウォーキング、夏休み期間の規則正しい生活習慣をつくる夏^{なつ}部、その他として、ニュースポーツ体験会や宮津市と連携しイベントを実施しています。



ジュニアライフセービング講習

2

RAINBOWの活動そのものを「部活動」に 宮津の中学校部活動をアップデートする地域展開案

現在、宮津市では中学校部活動の地域展開が進められています。その検討委員の一人である「RAINBOW」代表理事・垣尾靖は、これまでの部活動の枠にとらわれない、新しい形を提案しています。

それは、「中学校のなかで活動する」のではなく、「地域クラブであるRAINBOWの活動そのものを部活動にする」という考え方です。

RAINBOWは総合型地域スポーツクラブとして「多世代活動」をしていますので、中学生を受け入れる環境がすでに整っています。さらに、『選べるスポーツ！日替わり部活!!』をテーマに「今日はこの競技、明日はあの競技」といった、多種目活動が可能です。

活動時間はプログラムによってさまざまですが、主に19時から20時半に実施されている枠組みへ参加してもらう形を想定しています。現在は、この地域クラブへの参加が正式に部活動として認められるかを検討している段階ですが、このような取り組みを行うことで、RAINBOWの活動を部活動とすることが実現できると考えています。

3 「勝敗」の先にある一生モノのスポーツライフを—— 部活動の枠を超え家族みんなが主役になれる、 新しい地域展開の形

スポーツを始めるきっかけや続ける理由は、決して勝利のためだけではないはずです。憧れの選手に胸を躍らせたあの日、仲間と笑い合ったあの時間……。そんな純粋な好奇心を大切にするために、部活動の地域移行が進むなかで、単なる場所の提供にとどまらないRAINBOW部としての「三つの独自価値」を掲げています。

【勝利＜楽しく！ 未経験者大歓迎のRAINBOW部】

勝利を優先するクラブは、未経験の子どもが入りづらい雰囲気があるかもしれませんが、スポーツの入り口はもっと自由であるべきだと考えます。憧れの選手を見て「やりたい!」と思ったその瞬間こそが最高のスタートラインであり、「ルールを知らない」「体力に自信がない」といった不安でキラキラした好奇心を諦めてほしくないのです。

そのため、RAINBOWでは経験者だけでなく初心者も安心して参加できるよう、どちらかと言えば初心者の歩幅に合わせる形を大切にしています。また、総合型地域スポーツクラブとして多世代活動を行っているため、中学生という枠を超え、親世代も一緒に参加できるのが大きな魅力です。

もちろん勝負の面白さも追求しますが、基本的には「楽しく」がベース。単に技術を競うこと以上に、多様な世代とのコミュニケーションに重きを置いた温かい受け皿として、子どもたちの背中を優しく押していきたいと考えています。

【中3から始められるRAINBOW部】

京都府北部では現在も部活動への全員加入が一般的ですが(宮津市では現在「部活動への全員加盟制」がとられています)、宮津市と進めている今回の地域展開は、まずその固定観念を柔軟にすることからスタートしています。

そのなかの一つとしてRAINBOWがめざすのは、中学3年生の部活動の空白期間をつくらないということです。夏の大会が終わって引退したからといって身体を動かすことをやめてしまわず、その後の数カ月も自分なりのペースで「心」と「体」を動かし続けられる環境をつくること。現状では、中学3年生が「ちょっと遊びにいこう」と一時的に集まることはあっても、継続的な活動には至りにくいというリアルな課題はあります。しかし、中学の部活動引退後の運動不足が原因で、高校進学後に大きなケガをしてしまう事例も少なくありません。

だからこそ私たちは、中学生生活の最後まで「動ける体」を維持することを提案しています。

- ・勉強の息抜きに: 適度な運動は脳をリフレッシュさせ、受験勉強の集中力を高めてくれます。
- ・高校への準備: 次のステージで思いきり動けるよう、ケガをしないための体力づくりを続けましょう。
- ・地域とのつながり: 学校の外にある広い世界やボランティア活動に触れ、視野を広げてください。

中学生生活の最後まで全力で欲張りに、地域という大きなフィールドで最高の「青春」を駆け抜けてほしいと考えています。

【保護者も一緒に！ 送迎を「自分たちの楽しみ」に変えるRAINBOW部】

部活動の会場が学校外になると、どうしても「送迎が大変」という課題が挙がります。しかし、多くの先生方からも「親御さんも一緒に参加してみては？」という前向きな提案をいただいています。多種目・多世代活動を行うRAINBOWなら、同じ時間、同じ会場で親子がそれぞれのスポーツを楽しむ「一石二鳥」のライフスタイルが可能です。

例えば、子どもがバドミントンをしている横で母親がエアロビックに汗を流したり、子どもがタグラグビーをしているそばで祖父母がボッチャやウエルネスダーツを楽しんだり。送迎を単なる「負担」にするのではなく、家族全員がそれぞれの種目でリフレッシュできる時間を共有できるのが、地域クラブならではの強みです。

「子どもを待つ時間」を「ご自身の健康づくりの時間」へ。RAINBOWは、家族みんなが主役になれる、新しい地域展開の形をめざしています。



ファミリーフットサル(左)や幅広い年齢層で楽しめるボッチャ(右)もみんなが主役になれる種目

4 「自律した地域運営」で、誰一人取り残さない持続可能なスポーツ環境を未来へつなぐ

先ほども触れたように、現在、宮津市では「部活動への全員加盟制」がとられていますが、少子化の影響で種目数が限られ、未経験の子どもたちにとって選択肢が少ないという切実な課題があります。私たちは、たとえ数%であっても「今の部活動に居場所がない」と感じている子どもたちの受け皿になりたいと考えています。強制ではなく、自らの意思で「やりたい」と思える場所を提供することこそがRAINBOWの使命です。

持続可能な運営のためには、公費に頼りきるのではなく、受益者が月額500円～1,000円程度の適切な負担を分かち合う「自律した地域運営」が不可欠であり、これはアンケート結果のニーズとも合致しています。

さらに、RAINBOWがめざす自律とは、単なる金銭面ではありません。クラブ内には、スタッフと会員という枠を超えた多様な「協力のカタチ」が存在します。「プレーはできないけれど広報なら手伝うよ」「早めに行ってコートを準備するよ」「遠征のときに運転手をするよ」といった、会員一人ひとりの主体的な関わりが、現在22種目におよぶ多彩なプログラムを支える大きな力となっています。こうした「地域力」こそが、全国的な課題である指導者、人材不足を解消するカギになると確信しています。

例えば、RAINBOWで実施しているフラッグフットボールでは、当初は専門家である大学のコーチを招いていましたが、その指導を現場で受けていた「かつての経験者である保護者」が、今では立派な指導的役割を担っています。専門家から直接、あるいはリモートでノウハウを学び、それを地域の大人が子どもたちへつないでいく。この理想的な循環を部活動の地域展開に組み込むことで、指導者不足を地域全体で補い合えるはずです。

部活動の地域移行という枠組みを超え、「地域のスポーツ文化をどう守り、育てるか」。私たちは地域の方々と手を取り合い、一歩ずつ理想の形へと歩みを進めていきます。

NPO法人Sports Club RAINBOW 代表理事 垣尾 靖



フラッグフットボールは競技経験のある保護者が指導者として活躍中



ボランティア活動で行った宮津湾牡蠣殻環境学習会にて。地域の方々と手を取り未来へ。「自律した地域運営」をめざした挑戦は続く

クラブプロフィール

設立年月日 平成24(2012)年2月25日 平成30(2018)年8月21日 法人登記

所在地 京都府宮津市浜町3000 宮津市民体育館内

運営 会員数:120名(令和8年2月現在)、予算規模460万円(令和7年度)

特徴

- 多世代活動(未就園児から80歳を越える高齢の方も参加いただいています)
- 多項目活動(22のプログラムと月1~2回のイベントを実施)
- 多志向活動(スポーツが苦手な方にも楽しんでもらえるよう心掛けています)
- 15名の役員を含む20名の正会員のほか、協力者を増やすことを大切に考えています(参加される方ができる範囲内で)

連絡先 〒626-0012 住所:京都府宮津市浜町3000 宮津市民体育館内
TEL:090-6237-2607 FAX:なし
HP:<https://rainbow-miyazu.com/>
E-mail:ranbow.miyazu@gmail.com